

令和7年度「マンホールトイレに関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q10「マンホールトイレ設置助成制度について、どのような場面で広報をすると効果的だと思いますか。」では、「イ 市の広報媒体（横浜市公式 LINE、横浜市公式 SNS、広報よこはま等）」と回答した方が74.1%、次いで「ア イベント（防災フェア）」と回答した方が66.3%と多かったことから、引き続き市の広報媒体やイベントでの周知を行うとともに、広報よこはまの誌面での掲載を新たに依頼予定です。

Q11「どのようなイベントや媒体で広報するのが効果的か、具体的にご記入ください」では、各自治会や町内会に関するご意見も多く、地域の防災訓練等での周知も検討してまいります。

Q12「マンホールトイレ設置助成制度をより活用するために、どのような工夫があると良いと思いますか。」や、Q13「その他、マンホールトイレや助成制度に関してご意見やご要望があればご記入ください。」では、マンホールトイレ及び助成制度について様々なご意見をいただきましたので、今後の広報活動及び制度設計の参考にさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q1「災害時のトイレ対策について、関心がありますか。」では、「ア 関心がある」、「イ 少し関心がある」と回答した方が96.4%いるのに対して、Q2「横浜市にマンホールトイレ設置助成制度があることを知っていましたか。」では、「ウ 知らなかった」と回答した方が78.5%であり、多くの方がトイレ防災の重要性を認識している一方で、必要な制度情報が十分に行き届いていない現状が明らかになりました。

さらに、Q6「ご自身の住んでいる地域にマンホールトイレが設置されていると安心だと思いますか。」では、「ア 思う」、「イ 少し思う」と回答した方が90.5%、Q7「ご自身の所属する自治会や町内会、管理組合に助成制度について周知し、マンホールトイレを設置したいと思いますか。」では「ア 思う」、「イ 少し思う」と回答した方が84.7%いることから、マンホールトイレに対して災害時に有効な設備として高い期待が寄せられているものの、その整備を支援する助成制度の認知度が低いことは、重要な課題であると感じました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

マンホールトイレに対する貴重なご意見を多数いただき、大変参考になりました。是非お住まいの地域でマンホールトイレの設置をご検討ください。

今後も、市民の皆様の安心で安全な災害時のトイレ環境を実現するため、引き続き努めていきます。

【参考】マンホールトイレ設置助成制度のご案内

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/bousai/manholutoirezyosei.html>

担当：下水道河川局管路保全課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。